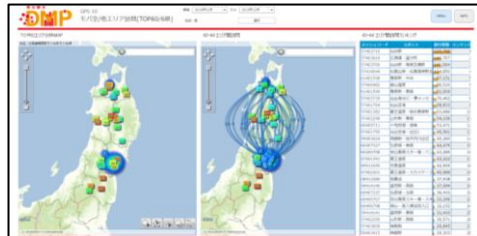


東北経済産業局「TOHOKU DX 大賞」支援部門 優秀賞（東経連会長賞）を受賞しました！

2021年度から東北経済産業局が東北地域における事業者等のDX推進に寄与することを目的に実施している「TOHOKU DX 大賞」において、東観推が支援部門優秀賞（一般社団法人東北経済連合会 会長賞）を受賞しました。



【仙台コンベンションセンターでの授賞式（11月30日）】

●受賞件名：「DMPとCRMシステムを活用した広域観光戦略立案による、東北への観光誘客促進」

●概要：「東北観光DMP」は東北域内の観光マーケティングデータを一元に管理可能で、「データ」に裏付けされたPDCAを踏まえ、戦略立案・プロモーション・受入環境整備への活用、各県市におけるDMPの活用事例の積み上げ・共有により、分析業務の効率化と経費抑制を実現。さらにCRMシステムである「TOHOKU Fan Club」を活用し、東北のコアファン＝ロイヤルカスタマーの育成とリピーターに繋げていく。

東北域内の観光マーケティングを一元管理する「東北観光DMP」とCRMシステム「TOHOKU Fan Club」を構築し、マーケティング調査を希望する域内の自治体やDMOにも活用してもらっている。現状分析だけでなく、データに基づくプロモーション・受入環境整備への活用を支援することを目的としている。

DMP：（Data Management Platform）インターネット上のユーザーの行動履歴や属性、広告配信など様々なデータを一元的に管理し、マーケティングに活用できるツール。
CRM：（Customer Relationship Management）顧客情報を一元管理することで、顧客との関係性を維持・向上させるというアプローチ、およびその目的のために開発されたツール。

日タイ観光セミナー（JNTO 主催）に参加しました（11月19日）

日本政府観光局（JNTO）主催によりタイ・バンコクにて開催された、日タイ間の観光旅行の回復促進のための「日タイ観光セミナー」に参加し、東北観光のプレゼンテーションを実施しました。セミナー開催は水際対策の緩和によりFITの受入れが加速し訪日旅行の意欲が高まっているタイミングとなり、効果的なプロモーションの機会となりました。

セミナーには、APEC首脳会議のためバンコク訪問中の岸田総理大臣も訪れ、訪日観光を呼びかけました。当日はタイ旅行会社を中心に約190名（タイ側138名、日本側52名）とメディア約30社（タイ側22社、日本側8社）が参加され、多くの参加者に東北の魅力を発信することができました。

東観推では、引き続きタイ市場から訪東北への速やかな回復に向け、旅行会社招請事業や一般消費者向けイベントへの出展事業等に取組み、東北の魅力を効果的に発信してまいります。



【東北パネルの前で】

台湾から旅行会社を招請しました（11月6日～10日）

台湾現地からエバー航空のキーエージェント3社3名を招請し、宮城県・山形県・秋田県・青森県において、台湾で人気の高い紅葉を中心に、コロナ前から人気の高かった東北のコンテンツや、コロナ流行後に誕生した新たなコンテンツを組み合わせで紹介しました。招請したいずれの旅行会社も過去に東北の旅行商品を造成していましたが、コロナ後初の日本の視察ということで、非常にモチベーション高く視察していました。

視察全体を通し、写真映えるスポットや、台湾にはない日本らしい自然が好評で、中でも東北の紅葉はいずれも非常に評価が高く、東北のカラーコンテンツであることを再認識しました。

今後、商品の造成をプッシュするとともに、12月に台湾現地で開催する東北PRイベント「日本東北遊楽日」などの機会に積極的に商品を販売してもらえよう、継続した働きかけを行ってまいります。



【鳴子峡（宮城県）】

在日欧米メディアを招請しました（11月5日～10日）

在日の欧米メディア2社2名（Only Planet・Wanderlust）を招請し、富裕層向け「新たなデスティネーション」をテーマに、青森県、秋田県、山形県、宮城県、福島県の観光コンテンツを視察しました。

視察全体を通し好評だったコンテンツには、共通して「本物・文化に触れる」という要素がありました。実際に現地の職人に教わりながらのものづくり体験や、ネイチャーガイド・お坊さん・舞妓さんなど、その道に精通している人たちと関わりがあるコンテンツへの関心が高く、熱心に取材をしていました。また、それぞれの施設での「おもてなしや接し方がほかの地域よりも温かく親切に感じる」とのコメントもありました。

欧米からの富裕層は、東京・京都などのゴールデンルートに次ぐ場所や、本物の体験ができることを求める傾向にあり、東北は実際にその世界に入り込んで本物の体験・経験できるところだと強く感じられたようです。今後も継続的に東北の魅力度・認知度向上のため情報発信をしてまいります。



【安藤醸造舞妓演舞鑑賞（秋田県）】



【銀山温泉千年回廊（山形県）】

在日中国旅行会社・ランドオペレーターを招請しました（11月6日～10日）

中国ではゼロコロナ政策による隔離措置や移動制限など、厳しい措置が設けられていることから、現地からではなく、在日の中国旅行会社・ランドオペレーター5社5名を招請しました。今回は東北の豊かな自然・文化体験・アクティビティ等を主なテーマとし、山形県・秋田県・宮城県を視察しました。

参加された方々は、それぞれ施設の方に積極的に質問を投げかけたり、時間を多くとって写真を撮影するなど、熱意をもって視察に臨んでいました。

東北の文化体験は非常に好評で、レトロな雰囲気と紅葉が調和した「銀山温泉」や、迫力満点の「男鹿のナマハゲ太鼓」には心から感動されている様子でした。また、招請全体を通じて、東北の食（特にお米）の美味しさや、温泉の質の良さも高く評価されました。

旅行者数の早期回復、東北への誘客促進を図るためには、東北ー中国定期路線の早期再開が重要となります。アフターコロナを踏まえ中国市場再開時には多くのインバウンドが見込めることから、送客の大きな鍵となる東北ー中国間の定期航空路線の再開を目指し、プロモーションしてまいります。



【男鹿ナマハゲ太鼓観賞（秋田県）】



【銀山温泉の視察（山形県）】

「レンタカー周遊旅事業」のモニターツアーを実施しました（11月29日～12月2日）

観光庁で実施している「地域独自の観光資源を活用した地域の稼げる看板商品の創出事業」に申請し、採択された「世界でココだけの体験を繋ぐ新たなレンタカー周遊旅造成事業」のモニターツアーを実施しました。

仙台・山形を中心に「世界でココだけ・世界初のコンテンツ」「レンタカー」「宿泊」を一括で手配できる商品を造成することを目的としており、国内及び台湾への販売に向けた事業です。

商品の内容をブラッシュアップすると同時に、東北の観光情報を発信するため、日本人・台湾人インフルエンサーを1名ずつ招請し、造成している商品を実際に体験していただきました。実際にレンタカーに乗りながら、「将棋書き駒体験」や「果物狩り体験」といったコンテンツや、商品の目玉の一つである「GPSオンラインガイド」や「電動キックボード」を体験していただきました。

今後、このモニターツアーから抽出出来た課題やフィードバックを踏まえた商品化を行い、日本人向けは年内に、台湾人向けには年明けを目途に販売を開始する予定です。



【電動キックボード体験】

SNSで東北の観光スポットやキャンペーン情報を紹介しています

東観推ではSNSを活用して日本国内及び海外に向けて観光情報を発信しています。その中でも日本語版Instagramでは、「東北PR局ハッシュタグキャンペーン」を開催中です。9月から11月の3カ月間で約19,000件、「#東北PR局」をつけて投稿いただいています。2月28日（火）まで続きますので、ぜひご参加ください！詳しくはキャンペーンページをご覧ください。

https://www.tohokukanko.jp/tohoku_pr/

また、日本語版のFacebook、Instagramではテーマ別に東北を紹介しています。11月は“〇〇の町”と“温泉”をテーマにしました。“〇〇の町”では福島県須賀川市の「ウルトラマン」のモニュメントや宮城県石巻市の「石ノ森萬画館」や「仮面ライダー」などの石ノ森章太郎作品の施設やモニュメント、青森県三戸町の「11ぴきのねこ」のまちをご紹介いたしました。旅東北でも紹介していますのでそちらもご覧ください。

これからも東北の魅力を発信していきますので、ぜひフォローをお願いします！



	【東北の観光・旅行情報サイト 旅東北】 https://www.tohokukanko.jp/	
	【Facebook (Tohoku Tourism) 英語版】 https://www.facebook.com/TohokuTourism/?ref=page_internal	
	【Facebook (Tohoku for Muslims) ムスリム版】 https://www.facebook.com/EnjoyTohokuFood/posts/	
	【Facebook (旅東北 東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.facebook.com/tohokukanko	
	【Instagram (tohokutourism) 英語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism/?hl=ja	
	【Instagram (東北旅遊) 香港・台湾版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_hk/?hl=ja	
	【Instagram (【公式】東北観光推進機構) 日本語版】 https://www.instagram.com/tohokutourism_jp/	
	【weibo (日本東北玩樂GO)】 https://weibo.com/lvdongbei	



©石森プロ・東映



©円谷プロ



【青森県三戸町『11ぴきのねこ』】

タイ旅行会社向けオンライン商談会に参加しました（11月8日）

旅行商品造成促進につなげることを目的に日本政府観光局（JNTO）バンコク事務所が主催するオンラインを活用した商談会に参加し、タイ現地旅行会社8社と商談しました。商談では旅行会社のニーズに合わせて東北の基礎的な観光情報の提供や、コロナ流行後にできた新たな観光施設の紹介を行うとともに、旅行会社からの要望に合わせて、最上川舟下りなど体験型コンテンツの詳細について情報提供をしました。タイの旅行会社からは、特に東北へのアクセスの利便性や東北の変化に富んだ美しい四季について興味が注がれました。

2023年1月には、タイ旅行会社招請（今年度3回目）を計画していますので、引き続き、タイ旅行会社に対して継続的かつ効果的なプロモーションを実施してまいります。

冬の東北誘致部会を開催しました（11月24日）

オール東北の冬の魅力を発信する事で、冬の東北への誘客を促進するための「冬の東北誘致部会」を開催しました。スキー場、宿泊施設をはじめとした観光事業者の23名（リアル19名・オンライン4名）が参加し、活動内容を共有しました。

コロナ禍前の冬季概況の振り返りと昨年度施策の報告、そして今年度実施予定の施策であるスノーアクティビティサイトへの記事投稿やオンライン商談会などの検討を行いました。その後、各部会員の昨今の事業環境や取組事例の共有を行い、非常に有意義な会議となりました。

訪日旅行の再開もあり、冬の東北への多くの来客が期待される中、引き続き、国内外へ冬の東北の魅力を発信してまいります。



【会場の様子】

第4回訪日プロモーション担当者会議（オンライン）を開催しました（11月28日）

東北6県・新潟県・仙台市の訪日プロモーション担当者と共に会議を開催しました。この会議は東観推と各行政の担当者間における情報共有と活発な意見交換を目的に2か月に1度実施しています。

第4回目となる今回は12/17～18に開催する台湾現地イベント「日本東北遊楽日」、2023年度訪日プロモーションにおける行政との連携状況とタイ追加事業を中心に共有および意見交換を行いました。「日本東北遊楽日」ではイベントの前日に実施する現地セールスやプロモーションの詳細について共有しました。来年度の訪日プロモーションにおける連携事業については、既に策定している事業計画（案）に追加してタイの新規事業について、行政に提案するとともに更なる連携を呼びかけました。

次回の会議は1月を予定しており、今年度の事業を計画的に遂行するとともに、来年度の事業計画を確立できるようしっかりと連携を図ってまいります。

関東地区公立中学校修学旅行研究発表会で情報ブースを出展しました（11月25日）

千葉市の千葉県教育会館において関東地区公立中学校修学旅行委員会・全国修学旅行研究協会の主催の修学旅行研究発表会が開催され、150名程の教職員の皆様が参加しました。東観推からは会場に情報ブースを設置し、来場した皆さまに東北・新潟全体の教育旅行PRをする資料を配りました。

東観推の他にも全国各地のDMO等がブースを出展しており、教育旅行誘致について各地の受入側の熱意の強さを感じる大会になりました。

コロナ禍が3年にわたって続いていることにより、常に中止を念頭に教育旅行の企画をしなくてはならないことで学校にも負担がかかっていること、相次ぐイベントの中止で生徒のモチベーションを維持するのに苦慮する様子などが各発表から伺えました。

こうした話を踏まえ、教育旅行を企画するにふさわしい地域であるために引き続きのPRや受入体制の磨き上げを行ってまいります。

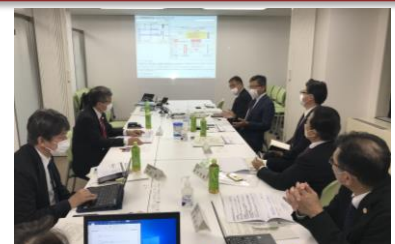


【発表会の様子】

広域連携DMO会議を開催しました（11月25日～26日）

本年7月より、東北・関東・中央日本・関西の4広域連携DMOが広域連携DMO会議を開催し、各地域の状況について意見交換を行っています。今回は第2回目となる会議を東観推のホストで開催し、北海道を加えた5広域連携DMOにて各地域の状況や、観光庁・JNTOとの連携のあり方について意見交換を行いました。

会議の翌日には震災遺構仙台市立荒浜小学校、JRフルーツパーク仙台あらはまなど、東北沿岸部の復興状況についての視察も行いました。



【会議の様子】

紺野理事長が講義・講演を行いました

●いわて観光グローバル人材育成講座にて講義（11月8日）

岩手県の観光資源をグローバルな視点から開発出来る人材を育成する人材育成講座において、観光関連従事者を対象に「アフターコロナの広域観光のあり方」と題し、講義を行いました。

現状の認識と時代に合わせた観光情報の提供が必須であること、またアフターコロナ時代を見据えた観光地域づくりとして、マーケット視点で磨き上げた地域のコンテンツを、オール東北でプロモーションすることについて話しました。



【岩手大学図書館 多目的学習室にて】

●第7回新しい東北観光シンポジウムにて講演（11月12日）

ホテルメトロポリタン仙台にて開催された第7回新しい東北観光シンポジウムにおいて「東北の観光は”TOHOKU”だ！～これまでと、これから～」と題し講演を行いました。

アフターコロナ時代の取り巻く環境として、国際関係機関等の動向、日本政府の動向、社会経済環境の変化の加速について述べ、ポストコロナ時代を見据えた東北観光の変革の必要性について話しました。また、持続可能な東北観光実現のための2本柱である東北(TOHOKU)ブランドの確立、デジタルマーケティングの重要性について触れ、広域で連携し、融合して重層的に取り組むことの大切さについて話しました。



【ホテルメトロポリタン仙台にて】

●株式会社DMC蔵王温泉ツーリズムコミッティにて講演（11月29日）

山形市の蔵王の国際的観光地化に向け、DMC蔵王温泉ツーリズムコミッティが発足し、その記念講演として「コロナ禍における東北観光の活性化について」と題し、講演を行いました。蔵王という海外に響く重要なキラーコンテンツを中心に、地域全体で、また他地域と組み合わせる魅力を演出し、視野を広く持ってDMCを成長させる重要性について話しました。



【蔵王温泉観光株式会社ジュビアにて】

第2回行政観光戦略会議を開催しました（11月1日）

東北6県、新潟県、仙台市の観光担当課長、他の皆さまが参加し、「2022年度上期事業報告」「今後の事業計画」「各県・市における今後の観光振興方策」などについての意見交換を行いました。

これからも積極的に連携を図りながら、他のエリアとの競争を意識した、大局的な観点での広域の施策取組みを進めてまいります。

第13回東北観光戦略会議を開催しました（11月2日）

経済団体、企業の実務責任者、東北6県、新潟県及び仙台市の観光協会・連盟の代表の方々が参加し、「2022年度上期事業報告および下期スケジュール」「2023年度事業方針（案）」などについて意見交換を行いました。議事では全国旅行支援、水際対策の緩和などについても意見がありました。

第22回理事会を開催しました（11月15日）

第22回理事会を開催し、新規入会会員の件、2022年度補正予算の件について審議を行い、異議なく承認されました。その結果、東観推の会員数は288団体となりました。また、2022年度上期事業報告、2022年度下期事業計画、2023年度事業方針（案）についての報告のほか、観光に関する最近の動き、2023年「G7仙台科学技術大臣会合」などについて情報交換を行いました。

第7期フェニックス塾 第5回塾を開催しました（11月17日～18日）

今年度第5回目となる東観推の観光人材育成の取組み「フェニックス塾」を秋田県の角館で開催しました。今回は2日間にわたって開催し、11月17日にセミナーとワークショップ、18日にエクスカーションを開催し、それぞれ29名、27名の塾生が参加しました。

【11/17・第一部】セミナー

セミナー①：「デジタル変革が切り開く東北観光の未来」コミュニティデザイナー 陳内裕樹様

セミナー②：「旅するかづの」株式会社かづの観光物産公社 清水涼太様

【11/17・第二部】ワークショップ（グループディスカッション）

「東北（TOHOKU）を国内外から選ばれる観光地にするには」をテーマに課題への対応策検討を実施しました。

【11/18】エクスカーショ

前半は、フェニックスアワード2021を受賞した「田沢湖・角館観光協会の取組み」について専務理事の桑島功様よりお話を伺い、地域に根差した地元の観光の取組みについて学びました。後半は東北観光における二次交通について塾生が自らそれぞれプランを立てMaaS等を利用して角館を視察しました。実際に経験することで、見えてきた課題もあり有意義な経験となりました。



【セミナーの様子】



【ワークショップの様子】



【桑島様の講義の様子】

TOHOKU Fan Club 会員募集しています

持続可能な東北観光を実現するための活動と一緒に応援してくれるファンの会員組織「TOHOKU Fan Club」では会員を募集しております。東北のおすすめ情報などを配信していますので、ぜひご登録ください。

また、ファンに向けて地域のイベント情報や新規施設のオープン情報など発信が出来ますのでご活用ください！



TOHOKU Fan Club
登録はこちらから

<https://tohokufanclub.com>

フェニックスアワード2022募集中！ご応募お待ちしております

「フェニックスアワード」は、東北・新潟に関わる観光振興を通じた地域の活性化に尽力貢献し、その功績が顕著であった団体・個人に対して表彰を行い、東北・新潟の観光と地域の発展に寄与することを目的としております。東北6県および新潟県の観光振興に取り組んでいる企業、団体、個人、どなたでも応募可能です。

●応募締め切り：1月31日（火） ※詳細はこちらから <https://www.tohokukanko.jp/business/index.html>

東北観光推進機構が提供するサービスをぜひご活用ください

多言語電話通訳サービス

外国人旅行者とうまくコミュニケーションが取れない場合などに、コールセンターのオペレーターが電話を介して通訳を行うサービスです。

【対象】東北6県および新潟県の観光関係事業者 【利用時間】24時間365日対応

※ただし、大型小売店、医療機関は対象外 【利用料金】無料 ※ただし、通話料金は利用者負担

【対応言語】日本語⇄英語・中国語・韓国語

【サービス受託事業者】株式会社テレコメディア

【お申し込みはこちらをご覧ください】

https://www.tohokukanko.jp/lsc/upfile/info/0000/0381/381_101_file.pdf?m=1668071166



「旅東北NEWS」VOL.051 2022年12月15日発行

【発行】一般社団法人東北観光推進機構

仙台市青葉区一番町2-2-13仙建ビル8階

【TEL】022-721-1291 【FAX】022-721-1293

【Email】info-ttpo@tohokutourism.jp

「東北観光推進機構」公式Facebook

東北6県・新潟県の旬の観光情報を配信中！

<https://www.facebook.com/tohokukanko/>

「いいね」「シェア」をよろしくお願いします！